

カヌーフラットウォーターレーシング (FWR) 競技
北京オリンピックアジア地区最終予選会 の概要

1. 主 催 ICF (国際カヌー連盟)、ACC(アジアカヌー連盟)
2. 主 管 社団法人 日本カヌー連盟
3. 後 援 (予定) 石川県、小松市、石川県教育委員会、小松市教育委員会 他
4. 期 日 平成 20 年(2008 年) 5 月 9 日(金) ～ 11 日(日) (3 日間)
5. 場 所 競技 石川県 小松市 木場町 木場潟カヌー競技場
開会式 石川県 小松市 林町 こまつドーム
6. 日程・ 開会式に続き、1000m 500m の 2 つの距離で、カヌーFWR オリン
種目 ピック競技種目の 12 競技を 3 日間にわたり開催
7. 参加国 ACC(アジアカヌー連盟)に加盟している 35 の国と地域。
8. 参加人数 選手 200 名、選手団役員 85 名、海外競技役員 25 名
(予定) 日本人競技役員 35 名、地元大会役員 50 名
ボランティアスタッフ 70 名 以上合計 465 名
9. 宿泊先 小松市内のホテル・旅館および公共の宿泊施設。
10. 参加国の 参加国は、小松までの旅費ならびに小松での滞在費を全てまかなう。
旅費 ただし、一部、開発途上国は、ICF(国際カヌー連盟)の財政支援を受け、参加する。
11. 輸送 小松空港・JR 小松駅から会場・ホテルまでの計画輸送を行う。
12. 予選会開催 ACC(アジアカヌー連盟) 理事会(エグゼクティブメンバー・各種別
決定までの 委員長 18 名で構成)の記名投票選挙により、2006 年 5 月 15 日
経緯 に ACC として、会場地を決定。(小松 10 票、マレーシア プトラ
ジャヤ 7 票、イラン テヘラン 1 票)。その後、2006 年 6 月 2 日～
4 日にマドリード(スペイン)で開催された ICF エグゼクティブ会議
が、アジアの決定を正式承認。
- 13.北京オリンピック 北京オリンピックの出場資格は、1 次予選を兼ねたオリンピッ
出場資格 クの前年に開催される「世界選手権大会」(ドイツ、デュイス
ブルク、2007 年 8 月 8 日～12 日)に 6 位もしくは、8 位に入賞
した国および、本最終選考会で 1 位となった国に出場資格が与
えられる。